
Call for papers
ソフトウェア・シンポジウム 2004
<http://www.ne.senshu-u.ac.jp/ss2004>
日程 2004年6月22日～24日
岡山コンベンションセンター(ままかりフォーラム)

主催: ソフトウェア技術者協会(SEA)
協賛(予定含む): 日本ソフトウェア科学会 情報処理学会 情報サービス産業協会
電子情報通信学会

ソフトウェア・シンポジウムは、ソフトウェア技術に関わる人々(技術者、研究者、教育者、管理者、学生)が集まって、交流を図ることを目的に毎年開かれており、今回で 24 回目となります。本シンポジウムの特徴は、パネルディスカッションや様々なテーマで開かれる討論集会(BOF)が活発に行われることです。今年のシンポジウムのテーマは「明日に架ける橋」にしました。未来に向けて新しい一歩を踏み出すアイデア作りを、岡山で皆様と共にできればと考えています。

【主要スケジュール】

投稿締切: 2004年2月15日
採否通知: 2004年4月5日
最終原稿締切: 2004年5月15日

【対象分野】 募集する論文の分野は、以下に挙げるようなものを想定しています。これ以外の分野でも、ソフトウェアに関連していれば何でも構いません。

- | | | |
|-----------------------|-------------------|-----------------|
| ■ 要求工学 | ■ ビジネスプロセス/ドメイン分析 | ■ オープンソース開発 |
| ■ 品質管理/標準化 | ■ 構成管理/プロジェクト管理 | ■ プログラム解析/テスト技法 |
| ■ プログラミング技法 | ■ 保守/リエンジニアリング | ■ メトリクス |
| ■ セキュリティ | ■ 再利用技術/コンポーネント | ■ 開発プロセス/プロセス改善 |
| ■ 分析/設計/開発方法論 | ■ オブジェクト指向技術 | ■ 形式手法・システム検証技法 |
| ■ Web 情報システム/Web サービス | ■ 組み込みシステム | ■ 教育支援技術 |
| ■ HW/SW コデザイン | | |

【論文投稿要領】 論文は、研究論文・経験論文・学生論文・事例報告の4種類を募集します。

論文/報告は、下記要領で作成しカバー・シートと合わせて、電子メールで ss2004-inq@moon.mis.ous.ac.jp 宛てに、2004年2月15日(必着)までにお送りください。ファイルの形式は、PDF形式、MS_Word形式、PowerPoint形式のいずれかにしてください。採否審査結果は、4月5日までに応募者全員に電子メールで通知します。論文のスタイルの詳細およびカバーシートについては、下記URLを参照してください。

<http://www.ne.senshu-u.ac.jp/ss2004/submit>

応募論文/報告は未発表のものに限ります。他への重複投稿もご遠慮ください。論文は日本語で執筆して下さい。例外として英文も受け付けますが、当日の発表は日本語に限ります。

<<研究論文>> 発表20分+質疑討論10分

新規性のある技術を提案する論文です。

A4版10ページ以内とします。研究論文は、研究の新規性を重視して審査します。優秀論文賞の対象となります。

<<経験論文>> 発表20分+質疑討論10分

既知の技術の適用経験における新知見を述べる論文です。

A4版10ページ以内とします。経験論文は、実践の観点からの有用性を重視して審査します。優秀論文賞の対象となります。

<<学生論文>> 発表 15分+質疑討論 5分

発展性のある技術を提案する論文です。

A4版5ページ以内とします。学部および修士(博士前期課程)の学生を対象とします(第1著者以外は学生でなくとも可)。

学生論文は、発展性を重視して審査します。なお、学生論文は上記の研究論文・経験論文とは別枠とし、学生論文の単独の枠で審査し採否を決めます。

<<事例報告>> 発表 15分+質疑討論 5分

既知の技術の適用経験による知見を報告するものです。

要旨(A4版1ページ)と発表スライド原稿(10枚程度)で審査します。スライド原稿にも要点などを注記していただければ、査読者の理解が深まると思われまます。事例報告は、実践の観点からの有用性を重視して評価します。なお、事例報告は上記の論文とは別枠とし、事例報告の単独の枠で審査し採否を決めます。

投稿された論文/報告はプログラム委員会で査読を行い、採否を決定致します。研究論文・経験論文から最優秀論文賞を、全登壇者の中から最優秀発表賞をそれぞれ選定して表彰します。

採録された論文/報告/企画は、論文集(紙、CD-ROM等)に掲載されるほか、インターネットで公開される場合があります。その他不明な点は、下記の間合せ先まで電子メールでお問い合わせください。

【問合せ・論文等送付先】

ss2004-inq@moon.mis.ous.ac.jp

【シンポジウムスタッフ】

実行委員長: 大西荘一(岡山理科大) 実行副委員長: 田中一夫(日本フィッツ)

プログラム委員長: 飯田周作(専修大) 鈴木郁子(シャープ)

プログラム委員: 石川雅彦(SRA) 伊藤英毅(日本ユニシス) 岩見好博(オリンパス) 岡野浩三(大阪大) 落水浩一郎(JAIST) 香山瑞穂(専修大) 菊池豊(高知工科大) 熊谷章(TELST) 蔵川圭(NAIST) 阪井誠(SRA-KTL) 酒匂寛(Designers' Den) 佐原伸(日本フィッツ) 菅原耕一(富士写真フイルム) 鈴木裕信(コンサルタント) 高木徳生(オムロン) 田口研治(Bradford 大) 田村恭久(上智大) 富山宏之(名古屋大) 中來田秀樹(Next-F) 中谷多哉子(エス・ラグーン) 中野秀男(大阪市大) 南角茂樹(三菱電機) 西康晴(電通大) 東田雅宏(PFU) 藤枝和宏(JAIST) 二上貴夫(東陽テクニカ) 水野修(大阪大) 劉少英(法政大) 和田喜久男(NEC アクセステクニカ) 和田典子(ソニー)

事務局: 岸田孝一(SRA-KTL)